

## 地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護  
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護  
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 20 年 11 月 20 日
事業所名	グループホームチアフル花明かり
事業所番号	2372201380
記入者名	職名 ハウスリーダー 氏名 額額 美千代
連絡先電話番号	

(様式1)

## 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・地域に根差した環境の中で《楽しくて安らぎのある家》作りを目指している ・自分らしさに誇りを持ち。自分で出来る喜び、達成感のある暮らしのサポートを基本として支援している。	○ 基本理念の表示の文字が小さかったり表示場所が暗く見えづらかったりするので、今後は文字の大きさ、表示場所等を工夫して行く。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・ミーティング時に理念について繰り返し話し合い、利用者様の自己決定を大切に、自立支援に努めている。 ・基本理念を玄関、スタッフルーム、廊下等に掲示し、職員は日々確認しつつ業務を行っている。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	・地域の方には年4回の地域運営推進委員会でホームの基本理念を説明している。 ・月1回発行のホーム新聞にホームの理念を掲載している。 ・各ユニットの玄関やフロアに基本理念を掲示している。	○ ・地域行事に多く参加し、事業所の理念と役割を伝え地域の方々に認知症への理解を深めて行きたい。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・散歩、買い物、ゴミ捨て等で頻繁にお会いする機会があり、其都度此方から積極的に挨拶をする様心掛けている。 ・入居者の囲碁の相手をして頂いたり、一人で勝手に外出された人を心配し、知らせて頂く等お世話になっている。 ・夏祭り等ホームの行事の際は必ず近所の方に声掛けし、気軽に参加頂いている。	○ ・地域行事に多く参加する機会を増やし、馴染みの関係を作って行ける様働き掛けて行きたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・児童館、老人会、他の施設の行事等地域行事には出来るだけ多く参加する様にしている。 ・市民文化祭に出品、参加したり、ホームの行事には地域の方々にも参加を呼び掛けご協力頂いている。	○ ・ホームを未だ何をしている所かを理解されていない方も見えるので老人会、地域交流の場に出来る限り参加し、ホームへの理解を呼び掛けて行きたい。 ・ホームの行事に招待したり、気軽に遊びに来れる雰囲気作りに努めて行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献  利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・日常化する地域との交流の中で高齢者様の特技を生かし、利用者様の前でハーモニカを演奏して頂く機会があった。生き生きとした表情の利用者、演奏者の姿が見られ、お互いに良い刺激の場となったと喜んでいる。今後も些細な機会を逃さず地域に活かして行く様努めたい。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・前回の結果を受けてミーティングで話し合い、改善に向け取り組んでいる。 ・全職員が自己評価を行い、サービスの質の向上に努めている。	○	・評価を通して自己を振り返りサービスの向上に努めたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・運営推進委員会での意見を報告、話し合いをし、ホームのサービスの向上に生かされている。		
9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・管理者は行政関係で分からない事があれば直ぐ尋ねて回答を貰う等連携を図っている。 ・後期高齢者医療制度の開始にあたり、市が主催する説明会に参加している。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・ミーティングで権利擁護に関する説明を行い、資料を配布した。必要と思われる方には支援する体制にある。		
11	○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・職員は虐待について理解し、常に順守に向けて取り組んでいる。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・管理者は契約時に重要事項について十分に説明し、家族の方と確認しながら同意を得ている。 ・解約時のご家族に不安、疑問点が残らない様、十分な説明を行い理解、納得を得ている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映  利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・利用者様の意見、不満がストレスにならない様問題があればその都度ミーティング等で話し合い、管理者の意見を聞きながら対応に努めている。 ・入居者の思いを察する努力をし、常に入居者本位の運営を心掛けている。	
14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	・毎月ホームの新聞を発行し、生活の様子やホームでの取り組みについて報告している。 ・受診後の結果報告等、速やかに連絡し、要望等を聞かせて頂いている。	○  ・久しく面会に来られないご家族様もいられ、どの様になると来て頂けるか検討中です。
15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・意見、要望等はミーティング等で話し合い意見を反映している。 ・ご家族の来訪時に要望、意見をお聞きしサービスに生かす様努めている。 ・事業所以外の外部者への相談、苦情窓口への案内も契約書に記載されており差別なくケアにあたるという事を説明している。	
16	○運営に関する職員意見の反映  運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・全体ミーティング、ユニットミーティングを定期的実施し、意見を出し合い反映されている。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整  利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・無理の無い勤務体制となる様工夫されている。又管理者は状況の変化に応じ柔軟な対応が出来ている。 ・一日を通し、その時々状況に合わせた職員の協力や調整が出来ている。	○

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・入居者が馴染みの職員による支援を受けられる様各ユニットの職員を固定化している。一日の状況を見て他ユニットとの調整もあるが、最小限に留める様工夫をしている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・管理者研修、認知症レベルアップ研修会、介護研修等を受ける機会があり、研修報告は全職員が閲覧出来る様になっている。		
20	○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・他のGH訪問、意見交換の交流の場を持ちサービスの向上に努めている。 ・愛知県GH協議会において研修を受ける機会があり、サービスの向上につながっている。	○	・他のGHを見学し、良い所を吸収してサービスの向上につなげて行きたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・日常的に昼食を共にしたり、リーダー会、食事会等を通じ、管理者と話す機会が多い。 ・心配事があれば管理者が何時でも相談に乗りアドバイスを頂けるので其の事がストレスの軽減につながっている。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・良い職場にしようと日々努力されている。 ・職員が向上心を持って働ける様配慮されている。 ・資格取得に向け必要な資料や教材を提供する等職員を支援している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・事前面談で本人の状況を把握し気持を受け止め理解するよう努めている。 ・体験入所の希望があれば受け入れている。		
24	○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・管理者、ユニット長は此までのご家族の苦悩や今迄のサービス利用の経緯をお聞きし、ご家族が求めている事を理解し、受け止める努力をしている。	○  ・ご家族と信頼関係を築いて行ける様日々努力している。	
25	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・本人の認知症状、身体能力の見極めと家族の方の希望を含め話し合い、必要なサービスの選択を支援する様努めている。		
26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・入居前に本人、ご家族にホームを見学して頂き、ホームの雰囲気を感じ取って貰っている。 ・体験入所も行っているが、直ぐに入居される方が多く、その際は職員が十分に理解し、他者との関係も配慮し安心して過ごせる様支援している。 ・本人が一日も早くホームに馴染める様、ご家族と相談し協力を得ている。	○  ・入居者から気軽に声を掛けて貰えるケアに努めている。	
	27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・人生の先輩として教えて頂くという心積もりで接している。 ・本人を良く知り思いを共有し支えあう関係が築けるよう努めている。	○  ・利用者様の日頃の様子を把握し、悩んでいる様子なら声をかけ打ち解けられるように努めている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・職員は家族との関係を良好にし、共に本人を支えている。 ・ご家族の来訪時には日々の生活の様子を報告し、情報の共有に努めている。	○	・家族（娘、孫、嫁、お父さん）と言った雰囲気をかもし出しながら安心して喜怒哀楽が出せる様な関係作りに努めている。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・双方の思いを受け止め、両者の思いが結びつく様な働き掛けを心掛けている。 ・会話が余り得意では利用者様には職員が間に入りよい関係が築ける様支援している。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・本人が馴染んで来られた町、人達に合える様支援に努めている。 ・本人やご家族の要望に応えるられる様、柔軟に対応する努力をしている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・一人一人の個性を理解し、利用者同士の関係が上手く行く様、必要に応じて職員が仲介し孤立しない様支援している。 ・共通する趣味の利用者様同志関わって頂いたり、自分の力が発揮出来る様支援している。	○	・体操、レクリエーションでは輪になり互いの顔を見て談話が出来る様工夫している。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・お会いした時は此方から挨拶をする様にしている。 ・契約が終了した後でもご家族からの要望に応じ支援する体制である事を伝えている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・日々の関わりの中で一人一人の思いや意向を受け止め、その人らしい生活が出来る様努めている。 ・個々が暮らし易い様、コミュニケーションを上手に取り本人の話をゆっくりと聞く様努めている。	○ ・少しの時間でも一人一人に対するコミュニケーションを取って行きたい。 ・ご本人の希望に副えない場合は管理者、ご家族と話し合い支援している。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・ご家族の来訪時に話を伺ったり、本人との会話の中で把握に努めている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・その人の生活リズムを理解するとともに、本人の有する力を把握しその人らしい暮らしが出来る様努めている。	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・本人や家族からの要望を介護計画に反映させている。検討課題をもとにミーティングを開き、他職員からの意見やアイデアを反映した介護計画を立てている。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・入居者に変化が生じた時は期間を満たさなくても現状に即した新たな介護計画を作成している。 ・本人の状態やご家族の要望を反映した介護計画を立てている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・申し送りノート、気づきノート、個別記録等を記入し、職員間の情報の共有に努めたり、介護計画の見直しに活用している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・ホーム内での多機能性はないが、他ユニットとの交流は日常的となっている。同事業所の他施設とは共同で運動会、焼き肉パーティ等交流の機会があり、入居者の生活の活性化に役立っている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・月に数回地域ボランティアに拠る、手芸、コーラス練習、習字教室が開催されている。又囲碁の得意な地域の方に利用者の相手をして頂く事もある。	○	・利用者の希望や意向を把握し、地域の方の協力を得て出来るだけ本人の思いに応じて行きたい。
41	○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・マッサージ、リハビリ等の外部サービスを受け入れている。 ・ご家族の要望で移動美容室を定期で受け入れている。 ・本人、ご家族の希望で他の保健施設に入居される場合はスムーズに事が運ぶ様、連絡調整に努める。		
42	○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・三ヶ月に一回、運営推進会議に出席して頂いた際ホームでの暮らし、活動状況を報告している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・ご家族様、利用者様が希望する掛り付け医となっている。 ・受診時は身体経過や現状を報告し、適切な医療が受けられる様支援している。又受診結果についてはご家族と職員との伝達がしっかりなされている。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・老人医療に詳しい医師と連携して相談、指示を受けているが、気軽に相談出来る迄には至っていない。	○	・レベル低下、不安に思った時等気軽に相談出来る医師が居て欲しい。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・ホーム内に看護師が居り相談、対処が可能となっている。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・管理者が中心となり医療関係者との情報交換、相談を行ったり、各ユニットリーダーと相談して早期の退院が出来る様連携している。又その後のケアについてもご家族、医療関係者と相談している。	○	・今後も利用者様、ご家族様に不安が無いように連携をとって行きたい。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・重度化した場合、ターミナルケアについてもご家族様の要望、方針を管理者、リーダーを交えて、想定の上で尋ね、話し合った後スタッフに伝えている ・ご家族様の要望はあると思いますが、ターミナルは未だ受け入れてない	○	・ターミナルについての知識が不十分な為、知識を学びたい。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・管理者などは「出来る事、出来ない事」を見極めているが、必ずしも全職員が見極めが出来るか如何かは分からない。	○	・見極める力をつけてDrとももっと連携して強い絆を作りたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> <p>・ご家族と十分な話し合いと情報交換を行い、移転先にはこれまでの暮らしやケアの情報を提供し、配慮して貰える様働き掛けている。</p>		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> <p>・本人の尊厳を大切にし、プライバシーの確保に努めている。</p>		
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> <p>・入居者に合わせた声掛けをし、自身で決定する場面を作っている。</p>		
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> <p>・本人の希望に沿い畑仕事、散歩、買い物等が出来る様に支援している。 ・一人一人の思いや行動を先取りしたケアに努めている。 ・その人らしい生活が出来る様、その人のペースに合わせて支援している。</p>		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> <p>・ご家族が本人を理、美容院等へ連れて行かれる場合もありますが、それ以外にご家族の了解を得て移動美容院を利用して貰っている。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・調理、食事、片付けに至るまで利用者様と一緒に に行き、献立にも入居者の希望を取り入れながら 決めている。 ・誕生会、行事時には利用者様の希望を聞き工夫 し楽しく食事が出来る様支援している。	○	・利用者に手伝って頂いているが理解が困難な時 の姿も見られるので、優しく導き支援して行きた い。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ 等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせ て日常的に楽しめるよう支援している	・利用者様の好みを把握し個々に合わせた対応を している。 ・入居者の中にアルコール既往者が見えるので、 お酒の話などはなるべく触れないようにしてい る。 ・本人の要望を聞き入れたいが、身体の事、病気 の事を考えると難しい。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人 ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かし て気持ちよく排泄できるよう支援している	・出来る限りトイレで排泄が出来る様支援しオム ツ使用は極力避けている。 ・排泄パターンを把握、さりげなく声掛けをしト イレに誘導する事で失敗を減らすように支援して いる ・ご自分で排泄が困難な方は時間をみて誘導に努 めている	○	・利用者のプライドに配慮した声掛けを行い、ト イレでの排泄がスムーズに出来る様支援したい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわ ずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて、入浴を楽しめるように支援している	・利用者様の希望、体調に合わせてゆっくり入浴し て頂いている。 ・入浴を拒否される方には言葉掛けのタイミン グ、その人が好んでいる（歌、昔の話）などをし ながら気分良く入浴が出来るように支援してい る。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に 応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れ るよう支援している	・なるべく日中の活動を増やす様努めている。 ・不安、不満があれば話を聞き早急に解決出来る 様に支援している。 ・眠れない方には温かい飲み物を飲んで頂いたり、 話を聞き安心して休んで頂ける様支援してい る。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう に、一人ひとりの生活歴や力を活かした役 割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・日々の生活の中で利用者様が力を発揮出来る様 にその人に合った場面作りを提供している。 ・個々に生活歴、長年馴染んでこられた事を理解 しその人に合った過ごし方をして頂けるように支 援している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・ご自分でお金の管理が出来る方は財布（小額）を持って頂いているが、出来ない方はご家族様の了解のもとホームで管理している。		
61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・天気、体調を確認しながら出来るだけ全員が散歩に出掛けられる様にしている。 ・ランチ、遠足など戸外に出る機会を多く設けたり、個別で買い物、喫茶店等にも出掛ける様にしている。		
62	○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・ご家族との外出をお勧めしているが外出される機会が少ないので、個別に行きたい場所を尋ね可能な限りで要望に沿える様支援している。 ・ホームでは毎月行事を計画し、出来るだけ入居者の希望に沿える様努めている。		
63	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・利用者からの要望があれば電話、手紙などが出来る様支援している。 ・年賀状、暑中見舞い、手紙などは希望に応じ支援している。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・面会時間は特に設けておらず、何時でも訪問して頂ける様にしている。 ・面会者、来訪者には笑顔で対応し、気軽に来やすい雰囲気作りと、気兼ねなく過ごして頂ける様お茶等をお出ししている。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・職員は束縛をしないケアに努めているが、強い帰宅願望で入居者の安全が危ぶまれる場合はご家族の了解の下、時間を見て玄関に鍵を掛ける事がある。	○	・職員の交代の時間、職員の見守りが不十分になり勝ちな時間帯で施錠の時間は最小限に留めている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・原則として鍵を掛けないケアを行うべきだが見当識障害や帰宅願望の方が一人で外出されると危険が予想される為家族の了解を得て鍵を掛けさせて頂いている。 ・外へ行きたいと言われる利用者様には必ず職員が同行し、納得するまでついて行く様に支援している。	○	・様子見で安定している時間を把握し、施錠の時間は最小限に留めている。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・日中は入居者と同じ空間で記録を書くなどし、様子の把握に努めている。 ・夜間帯は定期的に巡回を行い、起きられた時に直ぐ対応出来る様居場所を工夫し安全に配慮している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・裁縫道具をお持ちの方は、針を使用される前に必ず本数を確認し使用して頂く様に努めている ・薬などの保管は必ず鍵を掛け利用者の安全に努めている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・ミーティング時、勉強会などで転倒、誤嚥等を設定し、知識を学ぶ様努めている。 ・警察、救急車を願ひする時はマニュアルに沿い慌てず連絡を取る様心がけている。		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・定期的に消防署の方が見え救命救急の勉強会を行っている。全ての職員が対応出来るかについては定かではない。 ・個々で講習会に参加し勉強している。	○	・急変時に落ち着いて対応出来る様、勉強会、講習には出来るだけ多く参加したい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・消防署の協力を得て火災の訓練、消火器の使い方等を教えて頂いている。 ・緊急時の避難マニュアルがあり各ユニットに配置しているが、地域の方との協同訓練には至っていない。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切に した対応策を話し合っている	・利用者様一人一人に起こり得るリスクについて把握しており、入居前、入居後もご家族様に対応策を説明している。 ・怪我などをされた時はその都度ご家族に経過を報告、話し合いを持っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・毎朝バイタルチェックを行い、表情、排泄物からも体調の変化を観察している。 ・情報は常に共有し、身体異変の早期発見に努めている。状況に応じ医療受診を行っている。 ・		
74	○服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・利用者様の薬の処方箋は個々のファイルに綴じている。 ・利用者様全員の薬の内容が分かるように一覧表にしてある。 ・内服薬に変更があったときは状態の変化、様子を観察し症状の異常が見られた時は医師に連絡し指示を受けている。		
75	○便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・トイレ誘導や食事に気をつけ適宜に身体を動かす様促している。 ・朝食時に牛乳、おやつ時にはプルーンを出す等排便を促す為の飲食物をお勧めし、自然排便を促している。		
76	○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・毎食後口腔ケアを行うように心がけているが時折忘れてしまう時がある。 ・ご自分で口腔ケアが無理な利用者には職員が指示したり介助を行っている。 ・義歯のある利用者様には夜間帯は預かり消毒している。	○	・各利用者様の口腔状態と口腔ケアを定着させたい。 ・職員も一緒に口腔ケアをし忘れないように努める。 ・個々の口腔状態の把握が不十分なので、往診等でDrに診て貰う機会を作りたい。
77	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・”食事摂取表”を作成し、疾患、食べ方に合わせて食事量を工夫している。個々に合わせて刻み食にしたり、ミキサー食にし摂取して頂いている。 ・水分摂取量が少ない方には小まめに水分を摂って頂ける様、努めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居者、職員は毎年連携医の往診時に、インフルエンザの予防接種を受けている。</li> <li>外出後は必ず嗽い、手洗いを実行する様努めている。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症について勉強会で全職員の意識や知識を高めたい。</li> <li>ノロウイルス対策の為、食前の手洗いを始め、特に外出後は手洗い、嗽いを徹底させたい。</li> </ul>
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日、まな板、布巾、食器、箸等を煮沸消毒、ハイター消毒を行っている。</li> <li>食材は二日に一回調達し、使い切る様にしている。</li> <li>消費期限切れの食材が見つかった時は、食中毒防止の為即、処分している。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>消毒表を見て、食器、調理用具などの消毒を行い台所回りの清潔保持に努める。</li> <li>食材は使用期限切れの食材が出ない様、早めに使い切る様にしている。</li> </ul>
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>花を飾ったり、季節にあった置物などを飾って、誰でも出入り出来る様にしている。</li> <li>利用者様と一緒に植えた花、手作りの絵などを飾り家庭的な雰囲気作りを心掛けている。</li> </ul>		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>灯りは眩しく無い様昼白灯にしたり、利用者が作られた作品、写真などを置くなどし、居心地良い生活を送れる様工夫している。</li> </ul>		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>廊下に畳の椅子が置いてあり気の合う利用者とは話をしたり、時には独りになれる空間を作り職員は邪魔をせず見守っている。</li> <li>外にベンチが設置してあり天気の良い日には外で食事、お茶などを楽しんで頂く様工夫している。</li> </ul>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・各居室に馴染みの物、使い慣れた物を置いて頂き利用者が心地よく生活出来る様見守っている。		
84	○換気・空調の配慮  気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・朝の掃除の時は空気入れ変えの為窓を開けている。 ・季節の変わる前後にエアコンの掃除をするようにしている。 ・空気入れ替え、温度調整を日常的に行っている ・冬季には加湿器を使用したり、部屋に濡れタオルを下げたりし湿度の管理を行っている。	○	・日に1回～2回程度窓を開け空気入れ替えをしている。
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・ホーム内はバリアフリーとなっており一人ひとりが安全に過ごせる様工夫されている。 ・廊下には手摺りがあり、歩行や歩行訓練の練習に役立っている。 ・ベッドの位置や家具の配置はその人に合わせ工夫している。		
86	○わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・本人にとって住みよい環境になる様、常に職員間で話し合っている。 ・一人一人の持てる力を把握し、出来るだけ自立出来る部分が増える様支援している。		
87	○建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・家庭菜園を作り利用者が畑仕事、日向ぼっこ等楽しみながら活動出来る様に努めている。 ・入居者が日常的に楽しみながら活動出来る環境作りをしている。		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

項目		取組の組織名
職員		総務部
利用者		総務部
職員		総務部
通いの		総務部

項	取	の	組	み	の
運営推					
職員					
職員か					
職員か					

【特に力を入れている点・ア  
 ・天気が良い日には必ずドラ